

## 岐阜県安八町、大垣共立銀行、バイウィルが ゼロカーボンシティの実現に向けた連携協定を締結

J-クレジットの創出・流通に取り組むことで、  
環境価値と経済価値の循環を起こし、安八町の地域脱炭素と地域経済の活性化に貢献

日本全国 47 都道府県のカーボンニュートラル実現を目指す株式会社バイウィル(本社:東京都中央区、代表取締役社長:下村 雄一郎、以下「バイウィル」)は、岐阜県安八郡安八町(町長:岡田 立、以下「安八町」)、株式会社大垣共立銀行(本店:岐阜県大垣市、取締役頭取:林 敬治、以下「大垣共立銀行」)と、ゼロカーボンシティの実現に向けた連携協定を締結しました。

3 者は本協定をもとに、J-クレジット(\*1)をはじめとする環境価値の創出・流通や、新たなビジネスモデルの創出に取り組みます。



(写真左から)大垣共立銀行 常務執行役員 吉成広行氏、安八町長 岡田立氏、バイウィル 執行役員 齋藤雅英

\*1:J-クレジットとは、省エネ設備の導入や再生エネルギーの活用等、事業者による脱炭素活動により得られた CO2 等の温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証したもの。発行されたクレジットは他の企業等に売却することで、購入者はカーボン・オフセットに活用することができる。

## 【締結日】

2024年12月9日（月）

締結日当日には、安八町役場にて締結式を執り行いました。

## 【協定内容】

3者は、地域におけるカーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミーの実現に寄与することを目的として、以下の事項について協力します。

- (1)環境価値に関する情報・サービス・ノウハウ等の提供
- (2)環境価値を活用した新たなビジネスモデルの創出
- (3)その他、本協定の目的に資すると当事者が認める事項

## 【締結の背景】

安八町は、2022年9月6日に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050年までにCO2排出量実質ゼロを目指すことを表明しました。

実現に向けては、①再生可能エネルギーの導入、②高効率な設備の導入による省エネルギー化、③電気エネルギー施設への転換を重点項目とし、所有する施設を中心として、具体的な取り組みを進めています。

また、大垣共立銀行とバイウィルは2023年9月27日に顧客紹介契約を締結し、地域の脱炭素をともに目指してきました。

今回も大垣共立銀行から安八町へバイウィルが紹介されたことで、安八町においては新たな取り組みとなるJ-クレジット創出・活用を進めるため、本連携協定に至りました。

\*参考)

・安八町『地球温暖化対策実行計画(事務事業編)』

(<https://www.town.anpachi.lg.jp/cmsfiles/contents/0000001/1449/02.pdf>)

・安八町『「ゼロカーボンシティ」宣言』(<https://www.town.anpachi.lg.jp/0000001449.html>)

## 【今後の展望】

安八町の脱炭素化を目指し、3者が連携して、J-クレジットの創出および流通を進めてまいります。J-クレジットの創出方法(方法論)については、LED設備の導入から検討しており、その後、その他の方法論についても広げていく想定です。

バイウィルは、安八町におけるJ-クレジット創出プロジェクトの登録・申請からモニタリング、創出したクレジットの販売までをシームレスに支援します。また、販売に関しては、大垣共立銀行とも協力し、「地産地消」によって岐阜県をはじめとする地域の脱炭素化を促進します。

## 【3者概要】

### <安八町 概要>

- 代表者： 町長 岡田 立
- 所在地： 岐阜県安八郡安八町氷取 161 番地

### <大垣共立銀行 概要>

- 名称： 株式会社大垣共立銀行
- 代表者： 取締役頭取 林 敬治
- 所在地： 岐阜県大垣市郭町 3 丁目 98
- 事業内容： 銀行業

### <バイウィル 概要>

- 名称： 株式会社バイウィル
- 代表者： 代表取締役社長 下村 雄一郎
- 所在地： 東京都中央区日本橋 2-3-21 群馬ビル 6 階
- 事業内容：
  - ・環境価値創出支援事業(クレジット創出)
  - ・環境価値売買事業(クレジット調達・仲介)
  - ・脱炭素コンサルティング事業
  - ・ブランドコンサルティング事業

### **【本リリースに関するお問い合わせ先】**

株式会社バイウィル 広報担当  
e-mail:[info@bywill.co.jp](mailto:info@bywill.co.jp)  
TEL:03-6262-3584(代表)